

ご当地グルメの誕生 地域を活性化させたい

「ご当地グルメを完成させるため、市内で飲食店を経営する有志の皆さんとともに、研究や試作を重ね試行錯誤してきました。そして、平成27年3月に完成した『登別閻魔やきそば』。市内飲食店で提供を開始すると大変好評で手応えを感じ、ご当地グルメとしてさらに売り出していこうとする動きが高まりました」と話す名畑さん。

その後、平成27年7月に、提供店同士が集まり『登別閻魔やきそばの会』を発足。発起人の一人である名畑さんは、「市内の飲食店や各関係団体とのつながりを大切に、地域を活性化させたい」との思いで、同会の会長を引き受けたそうです。

同会は、『登別閻魔やきそば』をご当地グルメとして定着させるため、スタンラリーを実施したほか、市内外で開催されるイベントにも積極的に出店しています。

「市内外のさまざまなイベントなどに出店するためには、材料の仕入れや搬入など多くの苦労がありました。みんなと協力し合っ



▲イベントに出店し、『登別閻魔やきそば』を作る名畑さん(左)

を知ってもらおうきっかけを作ることができたと思います。このような取り組みが、地域活性化につながっていけば本当にうれしいですね」と名畑さんは話します。

市民にも愛されるご当地グルメに

「『登別閻魔やきそば』は、一つの目標であった提供食数5万食を達成しましたが、『市民にも愛されるご当地グルメ』にするため、地元の人への知名度をもっと高めていきたいと思っています」と、名畑さんはこれまで以上に市民に定着させたいと思いを語ります。

「家庭料理の定番にしたいとも考えているので、だれもが調理できることで身近に感じてもらえるよう、会のみなどと話し合っ



昭和45年、帯広市生まれ。46歳

札幌市の宮島学園北海道調理師専門学校で調理師の免許を取得し、登別市で自身の飲食店を営む傍ら、『登別閻魔やきそばの会』の会長として、精力的にイベントに出店するなど、その普及活動に力を入れている。



KIRARI

な ばた やす まさ

名畑泰昌さん(幸町)

『登別閻魔やきそば』は、『登別ブランド推進協議会』が登別版ご当地グルメを作るうと市内の飲食店の事業者

に声を掛けたことをきっかけに開発され、平成27年4月16日から登別市内22店舗(平成28年7月末現在34店舗)で提供を開始しました。

平成28年4月には、学校給食やさまざまなイベントでの提供分を含め、提供開始から1年で登別市の人口を超える5万食の提供を達成しています。

今回は、提供店同士が集まり結成された『登別閻魔やきそばの会』の会長を務める名畑泰昌さんに、ご当地グルメに対する思いや会の活動について伺いました。

現在、『登別閻魔やきそば』を提供しているお店について知りたい場合や『登別閻魔やきそば』の提供を希望するお店は、商工労政グループ(☎011-2171)まで問い合わせください。

ご当地グルメで登別の魅力を発信したい